

亀尾城跡

菊池市中心部の南西に位置する丘の上の亀尾城は、菊池氏が城下町・隈府を守るために築いた十数か所の中世城郭のひとつだった。この城は、北は菊池川、南は迫田川に挟まれた高台の要衝にあった。中世の城がどのようなものであったかは不明だが、主に避難所として機能し、常時人がいたわけではなかったと思われる。

1370 年代、菊池氏が武家主導の中央政権である足利幕府と戦っていた頃、亀尾城は足利軍を率いた今川了俊（1326-1420）の手に落ちた。了俊とその息子は菊池氏への最後の攻撃に備え、城に 1 万人以上の武士を駐在させたと言われている。

亀尾城跡は現在公園として整備され、菊池平野や菊池市中心部を見渡すことができる。空堀の一部と城の本丸があったと思われる区画が復元された。近くには神社もある。